

この度は、「回数別既出問題集 108 回薬剤師国家試験」をご購入いただき、誠に有難うございます。

本書について、以下のとおり補足及び訂正させていただきます。

ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

薬学ゼミナール編集 回数別既出問題集 108 回薬剤師国家試験 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
P58 問 54 解説 4	……抗 HER2 ヒト化モノクローナル抗体であるトラスツマブと……	……抗 HER2 ヒト化モノクローナル抗体であるトラスツマブと……
P75 問 70 解説 表 間隔尺度 例	コレステロール値 血圧	気温(°C) 西暦年
P129 問 111 選択肢 3	……共輸送により腎臓の……	……共輸送により腎臓の……
P135 問 115 選択肢 4	……コドンを含む tRNA の 3' 末端に、mRNA の……	……コドンを含む tRNA の 3' 末端に、mRNA の……
P137 問 116 関連問題 問 3 解説	正	誤
P182 問 151 解説 1	……曲線 A を高濃度側に平行移動させる。	……曲線 A を高濃度側に移動させる。
P208 問 173 解説 6 行目	…… $=\frac{\ln 20}{\ln 4}=\ln 5=$ ……	…… $=\ln\left(\frac{20}{4}\right)=\ln 5=$ ……
P221 問 180 解説 2	……別に規定するもののほか、エンドトキシシン試験法に適合する必要がある。エンドトキシシン試験法の適用が困難な場合にのみ、……	……別に規定するもののほか、エンドトキシシン試験法に適合する必要がある。エンドトキシシン試験法の適用が困難な場合にのみ、……
P250 問 204 解説	……pH 変化による白濁が生じる……	……pH 変化による配合変化が生じる……
P250 問 204 解説 5	……注射液の混合による白濁が生じる……	……注射液の混合による配合変化が生じる……
P286 問 231 解説 3	……シアン化物イオン(CN ⁻)の中毒に用いる。	シアン及びシアン化合物による中毒に用いる。
P286 問 231 解説 4	……シアン化物イオンの中毒に用いる。	シアン及びシアン化合物による中毒に用いる。
P303 問 244-245 問題	pH 7.15(基準値 7.4±0.5)……	pH 7.15(基準値 7.4±0.05)……
P308 問 248 解説 6 行目	……end-of-dose failuer……	……end-of-dose failure……
P332 問 268 解説<代謝阻害の様式>CYPへム鉄への共有結合 説明	……不可逆的で、Cs が新たに……	……不可逆的で、CYP が新たに……
P333 問 269 解説	……必要に応じ減量・休薬等の処置を行う。	……必要に応じ、投与量を調節する。
P336 問 271 解説 1	セロトニン再取り込みを阻害する……バイオアベイラビリティは変化しない。	本患者は腎機能が低下したことによるリチウム中毒の可能性が高い。なお、炭酸リチウムとカルバマゼピンとの併用により精神神経系症状があらわれたとの報告はあるが、機序は不明である。

P336 問 271 解説 2	セロトニン再取り込みを阻害する……クリアラランスは変化しない。	本患者は腎機能が低下したことによるリチウム中毒の可能性が高い。なお、炭酸リチウムとカルバマゼピンの併用により精神神経系症状があらわれたとの報告はあるが、機序は不明である。
P336 問 271 解説 5	……eGFR は 36.3 mL/min/1.73 m ³ (女性の正常値:81~137 mL/min/1.73 m ³ であり、……	……eGFR は 36.3 mL/min/1.73 m ² (女性の正常値:81~137 mL/min/1.73 m ² であり、……
P338 問 272 解説 3	レボフロキサシンは、副作用を回避するため、ピーク値などを測定する。特に腎機能が低下している患者では高い血中濃度が……	レボフロキサシンには、副作用を回避するために血中濃度をモニターする規定はない。1日1回投与のため、高いC _{max} が得られ耐性菌を誘導しにくいとされている。しかし、腎機能が低下している患者では高い血中濃度が……
P373 問 299 解説 5	バルプロ酸によるカルニチンの生成抑制や再吸収抑制などにより、血中アンモニア値が上昇し、意識障害が起こっている可能性が考えられる。	バルプロ酸は、カルニチン生合成酵素を阻害するなど様々な機序でカルニチン欠乏症を引き起こす。カルニチンは、長鎖脂肪酸をミトコンドリア内に輸送するために必要な物質である。カルニチンの欠乏により、脂肪酸からのエネルギー供給が滞るため、尿素サイクルの抑制や糖新生の抑制が生じる。また、カルニチンが欠乏すると、バルプロ酸は肝毒性又は尿素サイクルを阻害する物質に代謝されるため、血中アンモニア濃度を上昇させることがある。よって、本患者はバルプロ酸投与により、カルニチンが欠乏し、高アンモニア血症を伴う意識障害があらわれたと考えられる。

下記は 2024 年 4 月 1 日から食品衛生基準行政が厚生労働省から消費者庁に移管されたことに伴う追補訂正となります。

	訂正前	訂正後
P82 問 77 選択肢 2 と解説 表	薬事・ <u>食品衛生審議会</u>	薬事審議会
p.82 問 77 関連問題 問 1	……薬事・食品衛生審議会……	……薬事審議会……
p.389 問 311 解説 2	……薬事・食品衛生審議会……	……薬事審議会……

下記は、2024 年 10 月のヘルシンキ宣言 ヘルシンキ改訂の和訳に伴う追補となります。

	訂正前	訂正後
P402 問 321 解説 1	……(人間を対象とする医学研究の倫理的原則)……	……(人間の参加者を含む医学研究のための倫理的原則)……

